平面図（S=1:100）



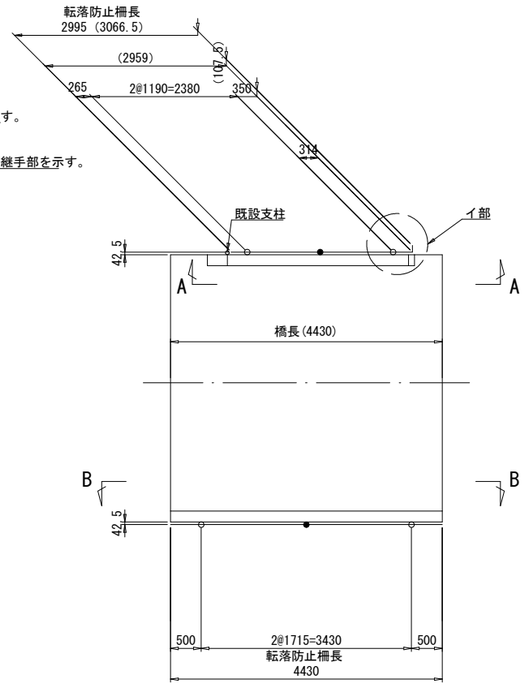
本工事施工箇所

工 事 名	橋りょう補修工事(権兵衛橋)		
工事場所	京都市右京区嵯峨野千代ノ道町他地内		
図 面 名	平面図		
事業年度	令 和 ８ 年 度		
縮　　尺	図示	図 面 番 号	1 / 2

京都市建設局土木管理部西部土木みどり事務所

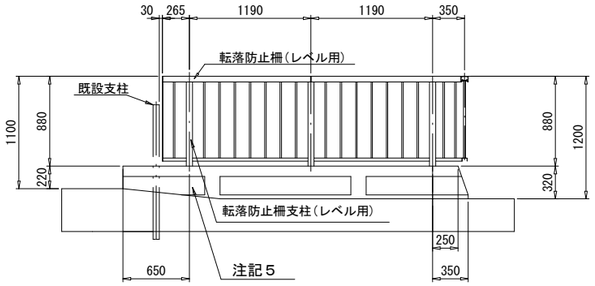
構造図

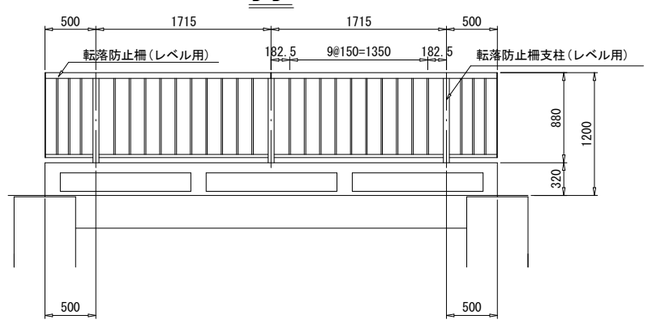
平　面　図　S=1/100



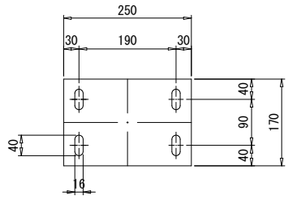
注記
1. 記入寸法はポストセンター押えとし、実長で示す。
2. （　）内寸法は水平長を示す。
3. 図中○、●印はポスト取付位置を示し、
　○印はレール材通し部を示し、●印はレール材継手部を示す。

姿　図　S=1/60

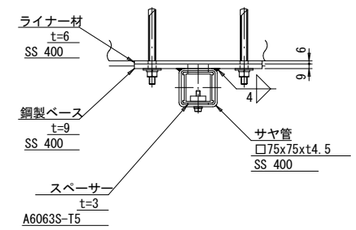




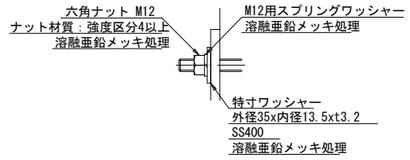
ライナー材詳細図　S=N/S



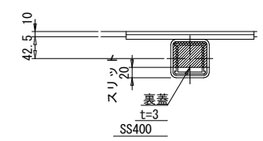
断面C-C　S=N/S



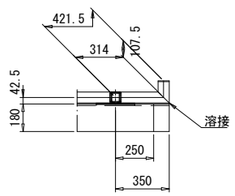
アンカーナット締め付け部　S=N/S



断面D-D　S=N/S



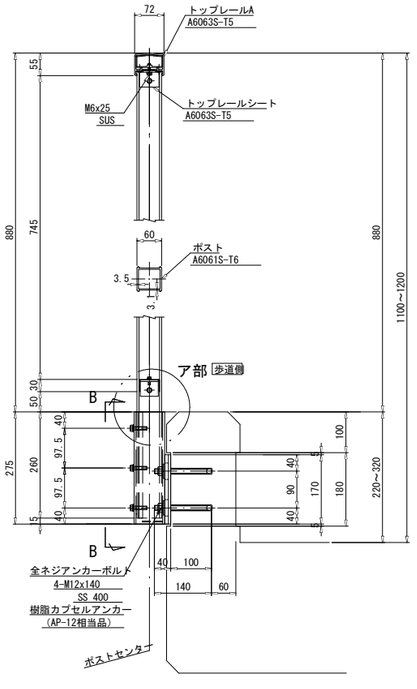
イ部詳細図　S=1/40



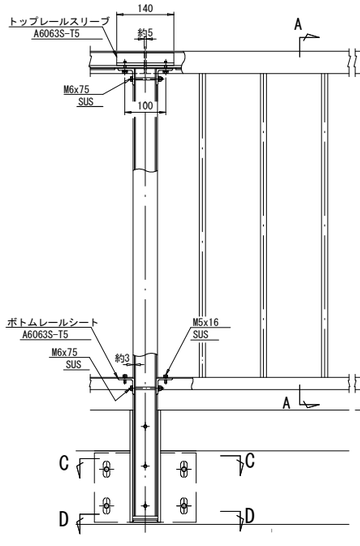
注記
1. 本防止柵の設計・製作仕様は（社）日本アルミニウム協会　土木製品開発委員会作成「アルミニウム合金製橋梁用防護柵設計要領」（平成30年6月）、「アルミニウム合金製橋梁用防護柵製作・施工要領」（平成27年3月）による。
2. 本防止柵の表面処理は、アルマイト処理とし色調種類は（KSB色 ダークブラウンA2種）とし、ボルト（アンカーを除く）は着色処理とする。
3. 強度区分の表記なきボルト類はA2-50以上とする。ただし、ビス類はA2とする。
4. アンカーと鉄筋の干渉の有無については現場調査を踏まえて確認する事。
5. ベースプレート設置位置について再度現場にて確認すること。

＜防護柵の仕様について＞
P種アルミ製転落防止柵は「転落防止柵(TB-7002-11)」（日軽ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ株式会社）と同等品以上とする。

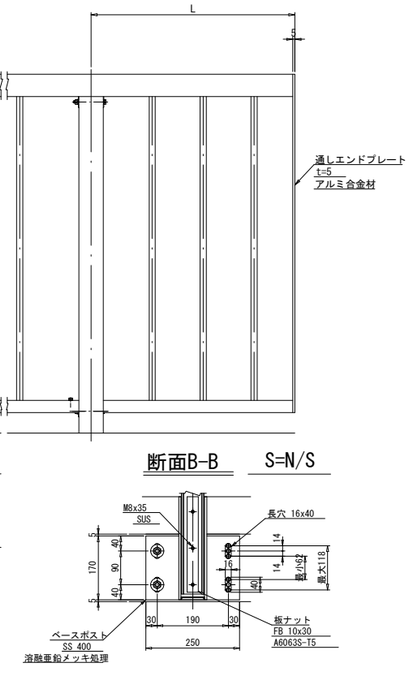
転落防止柵詳細図　S=1/15



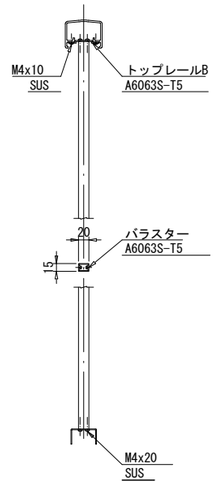
継手部



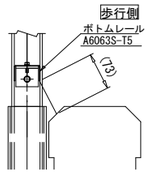
端　部



断面A-A　S=N/S



ア部詳細図　S=N/S



工 事 名	橋りょう補修工事(権兵衛橋)		
工事場所	京都市右京区嵯峨野千代ノ道町他地内		
図 面 名	構造図		
事業年度	令 和 ８ 年 度		
縮　　尺	図 示	図 面 番 号	2 / 2

京都市建設局土木管理部西部土木みどり事務所